

圧巻の演目多数、日本体育大学体育研究発表実演会

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 平井一海佐）及び市ヶ尾募集案内所（所長 内山2空尉）は、11月17日（水）日本体育大学からの招待を受け、横浜アリーナで行われた第58回体育研究発表実演会に平井本部長と内山所長が参加した。この体育研究発表実演会は、日本体育大学生が学内活動で修得した技術研究を発表する場であり、その成果を存分に発揮する機会として開催されている。

当日は、伝統芸能の和太鼓を皮切りにチアリーダー、チンドン、オリンピックパラリンピック報告会、トンボリン、バレーボール、新体操、ダンス、体操、集団行動、エッサッサ等々といった演目15種類が披露された。

今夏行なわれた東京オリンピック2020に出場した日本体育大学の現役やOB選手たちが会場に現われ、柔道の阿部一二三選手や阿部詩選手、体操の内村航平選手等が紹介されると観客から大きな歓声があがった。先日引退を表明した体操の村上茉愛さんや白井健三さんが司会となって、出場選手たちにインタビューを行なう様子が会場の大型モニターに映し出され、日本体育大学が輩出する選手の多くがメダリストとなっており驚くばかりであった。また、自衛隊の職種説明会等（よこしたひろゆき）

でお世話になっている保健医療学部の横田裕行教授（大学院保健医療学研究科長）が、組織委員会の医療調整本部責任者として約2ヶ月間選手村で勤務し、選手やスタッフの医療対応や医療機関の選定に携わったことが紹介された。

またTV等で取り上げられている『集団行動』は、体操服に身を包んだ学生が素早く行進し、列を乱さずに交差したり列の形を変えたりと一糸乱れぬ姿に目が釘付けとなった。指示を出され動作が変更されるたび、観客からは驚きの歓声や拍手が自然と沸いた。大学独自に誕生した応援スタイル『エッサッサ』は、男子学生たちが静と動、強と弱、速と遅の要素を取り入れた動作を行ない、学生寮の先輩から後輩に連綿と継承されてきた統一された動きは圧巻の光景であった。

市ヶ尾募集案内所は「今回の体育研究発表実演会には、日本体育大学と包括的連携協定を締結したことにより大学側から招待されたもので、日本体育大学と更に良好な関係を構築することができた。今後も国民の生命と平和な暮らしを守るあらゆる取り組みに資するため、幅広い分野で社会貢献等相互に連携し、協力関係を図っていききたい」としている。



オリンピックパラリンピック報告会



集団行動



えっさっさ

職業体験学習に参加して



自衛隊横浜中央募集案内所（所長 大柿3陸尉）は11月24日（水）横浜市立若葉台中学校で実施された職業体験学習に参加した。

内容としては陸・海・空それぞれの広報官が、それぞれのフリップを用いて説明するとともに、陸上自衛隊は偵察用オートバイの展示説明、海上自衛隊はロープワークの体験、航空自衛隊はVRゴーグルを用いたブルーインパルスの操縦体験をしてもらった。

1組（6名）を3個グループに分け、それぞれ15分ずつ体験してもらい最後に質問タイムを設けると、生徒から色々な質問があった。

「どうして自衛隊に入ろうと思いましたが？」「なぜ海上自衛官になっただか？」など自衛隊に対して少しでも興味をもってもらえたようだった。

横浜中央募集案内所は「将来、希望に満ちた生徒達に少しでも自衛隊を知る機会を与えて下さったことに感謝をし自衛隊の真姿を伝えることに努めていく」としている。